

平成二十五年一月十日より

展 観 目 録
「 新 春 を 寿 ぐ 道 具 」

表千家北山会館

京都市北区上賀茂桜井町61番地
075・724・8000
<http://www.kitayamakaikan.jp>

◎ 展示室

掛物

堂本印象筆 紅梅ノ絵

皆具

而妙斎好 松葉彫自画 唐銅

掛物

即中斎賛「萬代」庭山耕園筆 旭日ノ絵

棚

青漆 爪紅 刷毛目 高麗卓

掛物

山本行範筆 和歌 相生松風ノ歌「松によする祝 行範

相生の この双本に 伝わりて

久しかるべき 宿の松風」

硯箱

惺斎好 福祿寿 青貝 「福寿海」ノ文字

菓子器

而妙斎好 ウロコ鶴 四方食籠

掛物

而妙斎賛「旭日」 猶有斎宗員筆 富士ノ絵

茶碗

乾山写 宝舟二玉 (平成十三年)

掛物

即中斎好 仁清写 鳳凰

茶碗

即中斎筆一行「歓声滿天地」

掛物

已玉 赤

掛物

乾山写 已玉 (平成元年)

水指

而妙斎筆横物「天晴日頭出」 (平成元年)

掛物

柳曲 宝珠 琵琶ノ絵 (平成十三年)

掛物

拙叟宗益筆 龜絵賛「薄墨で さつと書いたる 龜なれど

釜

四五千年は きっと請合い」

清右衛門作

川端近左作

一閑作

一閑作

善五郎造

即全造

吉左衛門作

即全造

善五郎造

浄心作

炉 縁

而妙斎好 松ノ子松葉 黒搔合セ

善五郎・宗哲合作

掛 物

而妙斎筆一行「松無古今色」

茶 杓

即中斎作 十二ヶ月〈裏 溜金蒔絵〉 而妙斎追銘

一月 春風

〈芽張柳〉

二月 春寒

〈氷梅〉

三月 菱餅

〈曲水〉

四月 かがり火

〈花筏〉

五月 薫風

〈ハッ橋〉

六月 ほたる

〈早苗〉

掛 物

上村淳之筆 雪笹二瑠璃鶺鴒(るりびたき)ノ絵

花 入

洪草焼 青磁 鯉耳

今戸焼 信楽写 ウツクマル

白井半七作

浪越焼 オランダ写 置

服 紗

惺斎好 白地金襴

友湖作

即中斎好 松唐草 染

友湖作

即中斎好 笹金襴

友湖作

茶 器

而妙斎好 松鶴龜ノ絵 雪吹

宗哲作

而妙斎好 亀甲松蒔絵 大棗

川端近左作

而妙斎好 ウロコ鶴蒔絵 溜竹 金林寺

正玄作

蓋 置

即中斎手造 大樋焼 ツクネ 即中斎彫判 / 大樋焼 雪輪

竹 惺斎在判 / 弥介焼 夜学 / 黄釉 雲鶴ノ絵 正全造

香 合

南紀男山焼 桃 / 新渡 瑠璃南京 / 南紀男山焼 水鳥

惺斎好 今戸焼 手マリ 白井半七作 / 南京色絵 柳二牛ノ絵

高取 宝珠

◎ 呈茶席

掛物

而妙齋賛「瑞日」 猶有齋宗員筆 繪馬ノ繪

(平成十三年)

即中齋筆横物「千里同風」 額装

◎ 立礼席

掛物

而妙齋筆一行「日出乾坤輝」

(平成元年)

花入

膳所焼 油壺

釜

瓢形

浄中作

水指

萩 老松ノ繪 塗蓋 宗哲

坂倉新兵衛作

茶器

即中齋好 青漆 内銀 朱蓬萊ノ繪中叢

宗哲作

茶碗

赤 銘小槌

吉左衛門作

替

赤繪 福寿ノ字

即全造

茶杓

惺齋作

建水

隅田焼

蓋置

青釉 玉ノ繪

弘入作